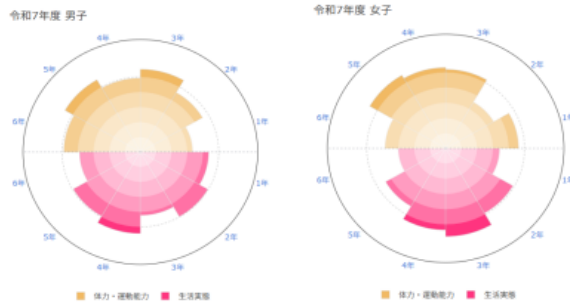


健やかな体の育成プラン

重点取組分野		具体的取組
健やかな体		①体力テストの結果を活用し、取り組むべき重点的な運動や遊びを教師間で共有すると共に、児童一人ひとりが「できた、わかった」という喜びを味わい、主体的に運動したり、体を動かすことの楽しさや気持ちよさを実感したりできるようにする。
担当	体育・食育・保健	②健康な体についての正しい知識を身に付け、子どもたち自身が、安全で気持ちの良い生活ができるようにする。 ③給食指導や栽培活動等、食育を様々な場面で推進し、食生活の大切さについて気づかせる。

健やかな体に関わる本校の状況



(1) 体育・健康に関する実態

・令和7年度の実態から、睡眠時間は市の平均に近い数値だが、運動時間は学年が上がるにつれて、朝食の有無は、学年が下がるにつれて少しずつ減ってきている。
・運動やスポーツ実施状況は、各学年とも、比較的に地域のスポーツクラブに所属している児童が多い傾向と言える。

(2) 体力の概要と要因の分析

・市の平均と比べると、学年・性別・種目により、差はあるが、令和7年度は、握力や持久力を見る20mシャトルランは、市平均を下回っている。その他の種目は、平均、または、それに近いところにいるが、学年によって、記録の差が見られる。
・敏捷性(反復横跳び)が毎年、市平均より低いことが課題として見えていたが、令和6年度から取り組んできた成果が、市平均に少しずつ反映されていることが分かってきた。一方で、体の使い方やアジリティーの高低については、学年によって差があることも実態として見えてきた。今年度も継続的に敏捷性を高めることを目指しつつ、学校保健委員会の取組を中心とした活動を計画的に実施していく。また、学習や遊びの中で柔軟性や握力、アジリティーを高める取り組みや、走ることに関する取り組みを継続的に行っていく中で、数値改善のきっかけとしていきたい。

今年度の目標

健康に対する関心を高め、運動を楽しむ実感を味わわせる
～体育科学習の充実を図り、子ども一人ひとりが「できた」「分かった」という喜びを味わうことができるようにし、主体的に運動(健康)に取り組めるようにする。～

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期	<ul style="list-style-type: none"> ○健康な生活を実践するために、自己の健康に向けて主体的に課題解決する力を育む。 ・体育の学習の中で、様々な運動に親しみ、運動の日常化を図る。 ・運動の特性にふれながら、基本的な動きや技能を身に付けさせる。 ・運動する楽しさを味わわせ、「できた」「わかった」経験を重ねることを重点目標とし、授業展開や学習資料の工夫を行う。 ・健康委員会では、外遊びを推奨したり、感染予防について紹介したりする。
下半期	<ul style="list-style-type: none"> ○健康委員会や集会委員会など児童主体の取組を活かして、日常的に体力づくりを意識した活動を取り入れる。 ○基本的な生活習慣の確立を目指し、栄養士や養護教諭と児童の実態を共有し、連携を図る。 ○各学年で、昨年度の体力テストの分析チャートを活用し、日頃の体育学習の充実に役立てる。